

平成 25 年度 柏崎市刈羽郡

学校教育研究会科学教育研究部 活動報告

部長 中村 義郎

1 研究活動の方針

- (1) 自然にはたらきかけ、自然から学び、自然を愛する児童・生徒の育成を目指し、教育センター科学技術教育班の事業に積極的に参加するとともに、自己の研修に努める。(各会員は率先して科学の祭典、研修会・観察会に参加する。)
- (2) 授業の改善を図るため、会員相互の連携を密にし、実践を通じた研修活動を推進するとともに、会員個々の研修成果を相互に交換することを積極的に進める。

2 主な実施事項および研修の内容

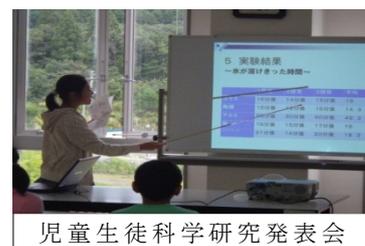
- (1) 柏崎市教育センター科学技術教育班との共催事業

- ① 第 48 回 柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

◇とき 10月3日(木) 参加児童生徒: 54名

◇ところ 柏崎市立教育センター

◇発表数 ・小学校 中学年 21テーマ、高学年 26テーマ ・中学校 5テーマ



- ② 第 48 回 柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

◇とき 9月7日(土)～16日(月) ◇ところ 柏崎市立博物館

◇出品数 143点 ◇来場者数 約2,000名

- ③ 小中合同野外研修会

◇とき 7月27日(土)～7月28日(日) 参加者 22名 (一般2名含む)

◇ところ 梅池・八方尾根方面 ◇内容 高山植物の観察等

- ④ 青少年のための科学の祭典 2013 柏崎刈羽大会 (会場:新潟工科大学)

◇とき 6月1日(土) 来場者数 およそ 2,500人

11月16日(土) 来場者数 およそ 1,500人

- (2) 理科関係団体への協力

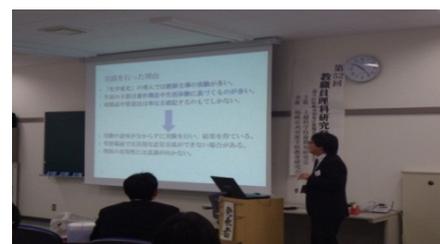
第 51 回 上越地区教職員理科教育研究発表会

兼 第 26 回 柏崎刈羽地区教職員理科研究発表会

◇とき 11月12日(火)

◇ところ 柏崎市立教育センター

◇参加者 80名 (柏崎刈羽地区から48名)



- (3) 研究収録の発行

『現場が生んだ理科指導上の工夫』第 42 集の発行

授業実践・教材研究・理科指導のポイントなどについて、会員からの寄稿を製本して発行した。

3 反省と次年度への課題

- 個々の教員の資質・指導力を高めるために、年間に 1 回は研修会等へ参加するよう、積極的に呼びかける。
- 児童生徒及び教職員が自然の事象にふれるためにも、科学作品展と科学研究発表会への積極的な取り組みを期待したい。
- 教育センターと共同での実施事業および研修はとても有効であった。
- 地区幹事や理科研究発表会の発表者に関わるブロック分けについて、来年度以降は会員数に応じた柔軟なブロック分けが必要になると考えられる。

(部員数 小学校 31 名・中学校 30 名・県立学校 5 名 計 66 名)